

ブラジル アマパ・イニシアティブ

現地からのお便り

2015年8月
コンサベーション・インターナショナル

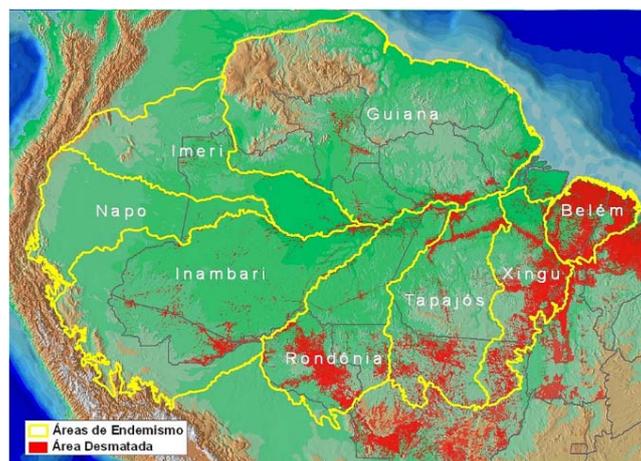
保護地域をよりよく管理していくための広報ネットワークの支援

広報は、ある特定の情報を、対象とする人々に伝えるための重要な手段です。人々に、州の政治や計画、プログラム、プロジェクトの内容を知らせ、教育することによって、成果やインパクトを生み出すことができます。そのためには、それらの州政府の活動を記録に残し、公開していくことが大切です。

現在、アマパ州の環境政策に関する広報戦略作りが進められています。環境に関する広報政策の中に、保護地域における個々の課題をしっかりと示しながら、保護地域をよりよく管理していくことを目指しています。ここでは、アマパ州の広報戦略と環境政策作りを支援するために、私たちが行ってきた活動をご紹介します。

ギアナ高地の保護地域に関するセミナー（SAPEG）

南米大陸の北部に位置するギアナ高地は、ブラジル、仏領ギアナ、スリナム、ガイアナと、ベネズエラの一部からなります。ブラジルでは、アマゾナス州及びパラ州の一部と、ロライマ州及びアマパ州が含まれます。保全された原生林に広く覆われた地域で、生物多様性が豊かで、多くの固有種が暮らしています。



固有種の種類で線引きしたギアナ高地の地図。赤色の部分は森林減少が進むところ。
(地図：Luis Barbosa, CI-Brazil)

アマパ州内の保護地域は1千万ヘクタールに及んでおり、SAPEGではアマパ州の土地管理のあり方を議論します。7月2日と3日に開催されたSAPEGには、保護地域、州政府、NGOの代表が参加し、保護地域を管理した経験や自然資本を守るための戦略などの展示がなされました。また、少人数のグループに分かれて話し合う中で、アマパ州の環境政策や広

報戦略の設計につながる提案がなされました。水資源や固有種を守ること、森林を維持していくこと、伝統的な知識や文化の価値を明らかにしていくこと、持続可能な生産網を強化していくことなどです。



SAPEG での議論の様子（写真：Aline Gonçalves）

戦略的な計画作り

戦略的な計画は、組織の進む方向性を決め、目標達成に必要な手段や資金を定めるために重要です。8月25日から27日にかけて、アマパ州の環境政策を定め、遂行する組織の戦略計画を見直すための会議を開催します。アマパ州環境局、アマパ森林研究所、環境・空間計画研究所が出席する予定です。

コミュニティによる持続可能な森林管理

コミュニティが主体的に木材及び非木材資源を管理することは、コミュニティが社会経済的に発展していくために重要です。また、私たち人間の幸せに欠かせない、自然の恵みをもたらす自然資本を守るためにも大事です。

木材を中心とした森林資源の多様な使用をコミュニティが主体的に進めていけるようになるために、現在、多くの試みがなされています。しかし、コミュニティによる持続可能な森林管理を支援する有効な政策がないことが大きな課題です。法的な枠組みを作り、有効な公共サービスを提供できるようにしていく必要があります。

そのため、2014年から、ブラジルのアマゾン地域で森林管理を支援するネットワークを立ち上げるための会合が開かれてきました。ネットワークの目的は、計画やプロジェクト、プログラムを通して、森林資源の多様な使用を促す政策の立案と実施を進める方策を議論することです。アマパ州国立公園とアマパ州有林の周りにあるセラドナヴィオ村の保護地域で、森林管理のパイロットプロジェクトを進めているアマパ森林研究所の技術者が、会合に出席しています。アマパ州にネットワークを立ち上げることを目指して、アマパ森林研究所とアマパ州環境局の間で技術的な議論を進めています。森林に関する州の技術評議会を再び稼働させることも一案です。

6月16日に、ブラジルのパラ州のベレン市で、政府、市民社会、研究所などの代表が参加する会合が開かれ、森林管理を強化するための方法やネットワーク作りに向けた戦略について技術的な議論がされました。さらなる議論を行うために、8月に再度会合を開きます。



6月16日に開かれた会合の様子（写真：Josinei Garcia, CI-Brazil）

木材の密度の測定についてのワークショップ

セラドナヴィオ村の保護地域で実施中のパイロットプロジェクトでは、森林管理のライセンスを供与できるようにし、コミュニティに自信をつけさせることを目指しています。授業やワークショップ、経験の共有や会議など、様々な活動を通してコミュニティの能力を高めていきます。

7月24日から28日にかけて、木材の密度を測定するためのワークショップを開きます。コミュニティにこのテーマについて基本的な知識を提供することが目的です。私たちは、参加した家族に学んだ活動をすべて行ってもらうよう促すつもりはありません。これらの知識は森林の管理に役立つものであり、コミュニティが自ら保有する森林の資源を管理する能力を持てるようになることを望んでいます。アマゾンの森林開発における企業とコミュニティの間の微妙な歴史的な関係に配慮しながら、活動を進めています。

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。